

1 ゆうりんの体制

■ 6つのお家

私たちには、子ども達に対して施設ではなく、家庭的な雰囲気の中で育ててほしいとの願いがあります。

その願いを反映し、ゆうりんには一戸建ての家が6棟並んでいます。その一つひとつが、子ども達のお家です。

6つの家の名前

「翔(しょう)」「輝(てる)」「望(のぞみ)」

「信(まこと)」「優(ゆう)」「繁(はん)」

です。



子どもの構成

- ・翔、望、繁は主に女の子達が住む家、
 - ・信、優、繁は主に男の子達が住む家
- です。

一戸建て一つの家につき、7～8人の子ども達が住んでいます(小舎制)。

子どもの年齢は、2歳～高校3年生までとばらばらです(縦割り養育)。また、家で一緒に生活する職員(担当職員、女性)も決まっています。男性職員は、補助として入ります。みなで擬似きょうだい、疑似家族として暮らしています。

こうして小さい子どもも、大きい子どもも特定の職員と絆を作りやすくしています(愛着の形成)。特定の人と絆を作ることは、人を信頼し人格を形成する基礎となります。